

ポータブル・デジタルテレビ BTV-D700

# かんたん操作ガイド

取扱説明書

BLUEDOT®



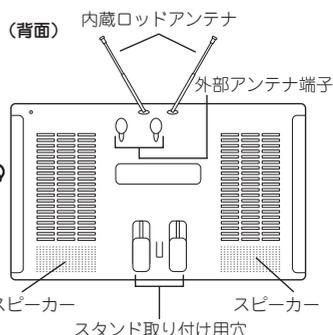
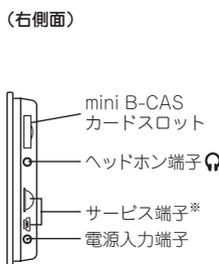
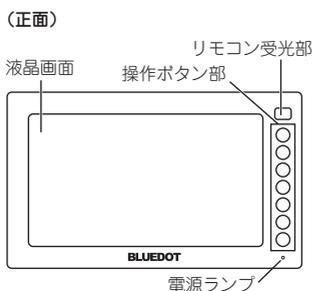
本機は日本国内の地上デジタル放送(フルセグおよびワンセグ)に対応したテレビ受像機です。他国ではご利用いただけません。

この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。  
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

## 本体と付属品

内容物をご確認ください。

- テレビ本体.....1台



- リモコン ....1個
- ACアダプター ....1個
- 家庭用F型アンテナ端子変換ケーブル ....1本
- 取扱説明書(本書)....1部
- 保証書 ....1枚
- miniB-CASカード ....1枚

※ファームウェア更新時に使用します。

**!** 注意 本書ではリモコン操作を中心に記載していますが、同じ名前・記号のボタンは本体でも同じ操作ができます。

## もくじ

① 地デジとは .....	4	⑧ チャンネルを設定する .....	8
② ワンセグとは .....	4	⑨ テレビを観る .....	9
③ B-CASカードを挿入する .....	5	⑩ 便利な機能 .....	10
④ テレビを設置する .....	5	⑪ 各種設定を行う .....	11
⑤ アンテナと電源を準備する .....	6	故障かな?と思ったら .....	12
⑥ リモコンの準備 .....	7	製品仕様 .....	13
⑦ 電源をオンにする .....	7		

◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。

◆ 取扱説明書の一部またはすべてを弊社に無断で転載/複製することは法律により禁止されています。

# 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b> 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> 人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

## 警告

 煙が出たり、変なにおいや音が出たりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜き安全が確認されるまで屋外に放置する。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

 内部に水や異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。電源をオフにする。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

 指定以外の電源で使用しない。  
火災・感電の原因となります。

 電源コードを破損しないようにする。  
火災・感電の原因となります。

 電源プラグの付着物は取る。  
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

 電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。  
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

 分解、改造を行わない。  
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

 内蔵バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。  
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

 雷が鳴り始めたら使用をやめる。電源プラグやアンテナケーブルに触れない。  
火災・感電の原因となります。

 風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。  
火災・感電の原因となります。

 異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。  
火災・感電・故障の原因となります。

絵表示の例	 記号は、禁止される行為を表しています。
	 記号は、行わなければならないことを表しています。

 本機を落としたり大きな衝撃を与えたりしない。  
電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 運転中は絶対に使用しない。  
車や自転車、オートバイなどを運転しながらまたは歩行しながらの視聴は重大な事故の原因となります。

## 注意

 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。  
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 濡れた手で触れない。  
感電の原因となることがあります。

 大きな衝撃をあてない。  
液晶画面が割れたり、本機が故障・破損の原因となります。

 本機を布などで覆わない。  
本機の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。

 移動するときは本機に接続されているすべての配線を取り外す。  
けが・故障の原因となることがあります。

 長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。  
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ボタン電池について安全上の注意

### 電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。

電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。  
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

### 電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電したりしない。

破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

### 指定以外の電池を使わない。

破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

### 使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。

そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

### 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

## ご使用に関する注意

### お手入れ

お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油污れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

### 結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。そのまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

### 視聴時の注意

暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないように注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

### 仕様上の注意

- ◆液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ◆バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ◆本機を他のテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

### 補償について

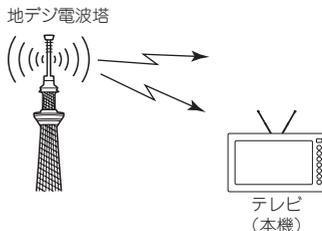
何らかの不具合 / 故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

### 保証修理 / 交換

保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

# ① 地デジとは

地上デジタル放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に移行しました。据置型テレビを前提とした一般的な地上デジタル放送は通称「フルセグ」とも呼ばれ、従来のアナログ放送に比べて高精細でゴースト(多重映り)のないクリアな映像を楽しむことができます。電子番組表の表示や複数字幕・複数音声の切り換えといった、これまでにない新しいサービスも提供しています。



- \* 本機は「BS デジタル放送」や「110度CS デジタル放送」など衛星放送の受信には対応していません。
- \* 本機はフルセグ放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

# ② ワンセグとは

地デジの放送波の一部(1セグメント)を使って提供されている携帯機器向け放送の名称です。小型のディスプレイで視聴していることを前提にしているため、フルセグよりも画面の精細度や動きの滑らかさは低くなりますが、電波の弱いところでも比較的受信しやすいという特徴を備えています。放送内容は基本的にフルセグと同じですが、時間帯によってはフルセグと異なる独自番組を提供している放送局もあります。

- \* 本機はワンセグ放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。



## 注意

・ 次の場所や地域では受信できない可能性があります。他の機器で受信できていても本機で受信できるとは限りません。

- (1) 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、屋内など、電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
- (2) 妨害波や電磁雑音が多い場合。

- ・ 安定して地上デジタル放送のフルセグ放送を受信するためには、付属の家庭用F型アンテナ端子変換ケーブルを使ってご自宅のテレビ用アンテナケーブルと接続されることをおすすめします。その場合、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。なお、電波が弱い場所では増幅器(ブースター)を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器(アッテネーター)をご利用ください。

- ・ 地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)」までお問い合わせください。

Dpa ホームページ: <http://www.dpa.or.jp/>

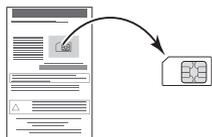
総務省 地デジコールセンター: 0570-07-0101 (ナビダイヤルをご利用になれない場合は:03-4334-1111)

## 本機は「フルセグ」と「ワンセグ」を切り換えることができます。

本機は電波の受信レベルに応じてフルセグとワンセグを自動的に切り換えます。受信レベルが低くなると自動的にワンセグに切り換わります。

## ③ B-CASカードを挿入する

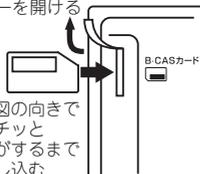
- ① B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意された上でB-CASカードを外す



B-CAS カード台紙

- ② B-CASカードを正しい向きで確実に挿入する

①カバーを開ける



②図の向きでカチッと音がするまで差し込む

### ！注意

- ・ B-CASカードの金属端子には触れないでください。
- ・ B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- ・ B-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
- ・ B-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
- ・ B-CASカードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- ・ 本機を使用中にB-CASカードを抜き差ししないでください。
- ・ B-CASカードを抜く場合は、テレビの電源をオフしてからACアダプターを外し、一度カードを押し込んでからゆっくり引き抜いてください。

破損・紛失などによりB-CASカードの再発行が必要な場合は…

詳しくは、B-CASカードの台紙に記載のある「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

B-CASカスタマーセンター：0570-000-250

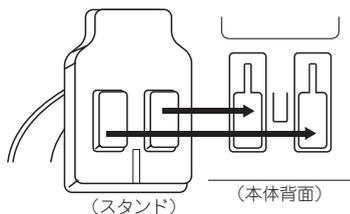
(ナビダイヤルをご利用になれない場合は：045-680-2868)

※その他、B-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

## ④ テレビを設置する

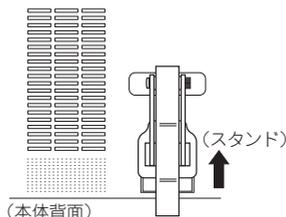
- ① スタンドを取り付ける

凹凸に合わせるようにしてスタンドを本体にはめ込みます



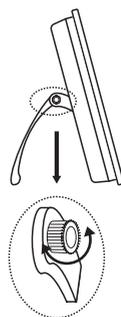
- ② スタンドを固定する

カチッと音がするまでスタンドを上スライドさせる



- ③ 台の上に設置する

スタンドのネジをゆるめて本体の傾きを調節できます

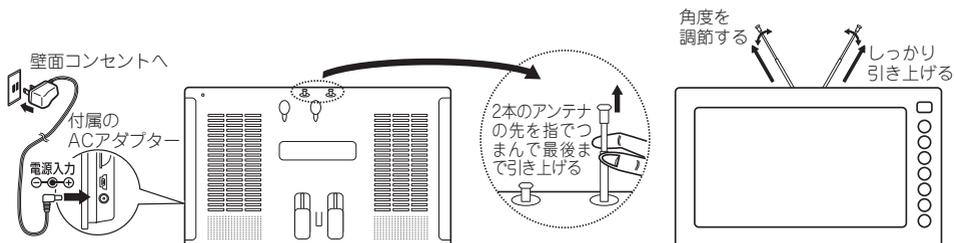


### ！注意

- ・ 不安定な場所に置かないでください。落下・転倒などによりけがや破損の原因となります。
- ・ 本体に上から強い力を加えると、スタンドが破損したり設置面に傷が付く恐れがあります。
- ・ 材質によっては設置面に傷が付く恐れがあります。

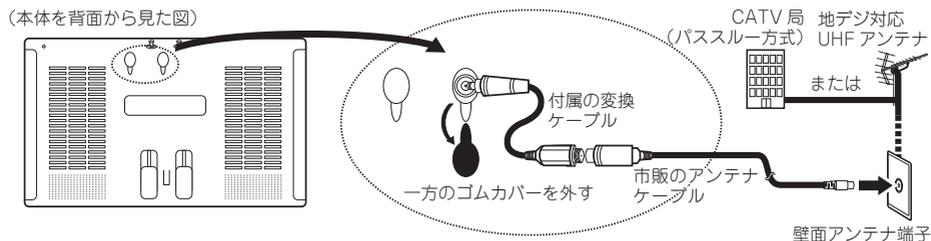
## 5 アンテナと電源を準備する

付属のACアダプターを本体の電源入力端子に接続して充電します。また内蔵アンテナを引き出して受信の準備をします。



- 注意**
- ・ バッテリー充電中は電源ランプが赤に点灯し、充電が終わると消灯します。バッテリーの充電時間は約5時間半です。
  - ・ 電波状況が悪い場合は受信できません。他の機器で受信できても本機で受信できるとは限りません。

### ご自宅のアンテナ端子につないで視聴する



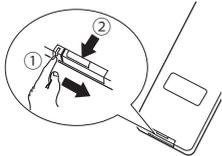
- 注意**
- ・ ケーブルテレビ(CATV)経由で地上デジタル放送を視聴されている場合は、設定にて「スキャン範囲」を「CATV」に変更してください(11ページ参照)。ケーブルテレビ独自の放送はご覧いただけません。

## 6 リモコンの準備

工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用前に保護シートを丁寧に引き出してください。

また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

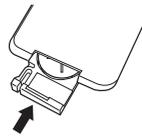
1. 電池ホルダーを外す
2. 極性(+/-)に注意し
3. 電池ホルダーを元に戻す



矢印の方向へ押し引きします。



電池を入れる

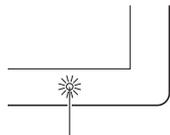


電池はCR2025をご使用ください。

## 7 電源をオンにする

リモコンの電源ボタンを押す

本体の電源ボタンを  
2秒以上押す



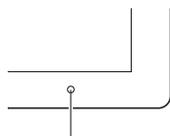
電源ランプが緑色に点灯し、  
電源がオンになります。

**!** 注意 ・ テレビ受信画面が表示されるまでに10～15秒ほどお待ちください。

### 電源をオフにする

電源ボタンを押す

本体の電源ボタンを  
2秒以上押す

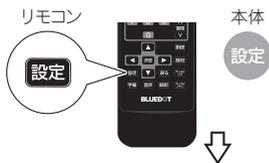


電源ランプが消灯します。

**!** 注意 ・ 充電中は電源ランプが赤に点灯します。

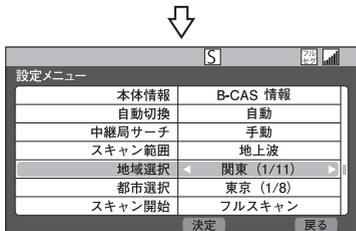
## 8 チャンネルを設定する

### 1 「設定」ボタンを押す



画面上に設定メニューが表示されます。  
※チャンネルスキャンボタンを押すと設定メニューのうちチャンネル設定に必要な項目のみ表示されます。

### 2 ▲▼ ボタンを押して「地域選択」に合わせてます



※ご自宅の壁面アンテナ端子を使い、ケーブルテレビ(CATV)経由で地上デジタル放送を受信される場合、事前に「スキャン範囲」を「CATV」に設定してください。

### 3 ◀▶ ボタンまたは音量+/-ボタンを押してお住まいの地域を選ぶ



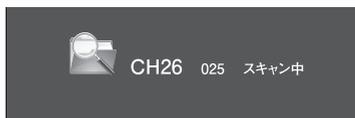
右上に続く

### 4 ▲▼ ボタンを押して「都市選択」を選び、◀▶ ボタンまたは音量+/-ボタンでお住まいの都道府県を指定する

### 5 ▲▼ ボタンを押して「スキャン開始」を選び、「フルスキャン」が指定されていることを確認して、リモコンの「決定」または本体の「設定」ボタンを押す。



初期スキャンが始まります。



### 6 スキャンが終了すると自動的に受信可能なチャンネルが映し出されます

これで初期設定は終了です。

**注意** チャンネルが登録されない、登録数が少ない、受信が不安定な場合、チャンネルスキャンを行った場所の電波状態が悪いと思われる場合があります。場所を変えて再度チャンネルスキャンを行なうか、家庭用F型アンテナ端子変換ケーブルを使ってご自宅の壁面アンテナ端子に接続し、安定した受信環境でチャンネルスキャンを行って登録した後、受信しやすい場所を見つけてください。

# 9 テレビを観る



**電源**  
リモコン 本体

**電源をオン/オフする**  
 本体ボタンの場合には2秒以上長押しします。  
 ※ご購入直後はチャンネルが登録されていません。  
 前ページを参照して、初期設定を行ってください。

**消音**  
リモコン 本体

**音量を調整する**  
 音量ボタンを使って音量を調整します。  
 消音ボタンを押すと音声を消すことができます。

**リモコン** 本体

**チャンネルを切り換える**  
 チャンネル番号を直接押すか、選局ボタンを使ってチャンネルを切り換えます。2ケタのチャンネル番号を入力するときは例えば12チャンネルの場合、「1」「2」を連続して数字を入力し、しばらく待ちます。  
 ※チャンネルが割り当てられていない番号を押してもチャンネルは切り換わりません。

**字幕** **音声**  
リモコンのみ

**字幕表示を切り換える**  
**第2音声/副音声に切り換える**  
 字幕のある番組では、ボタンを押すごとに表示/非表示を切り換えることができます。画面上部に[ ]のマークが出ます。  
 音声ボタンを押すと音声言語(第1言語、第2言語)と音声モード(主音声、副音声、主+副)を [ ] ボタンでメニューから切り換えることができます。

**番組表を表示する**

リモコンのみ

番組表

番組表ボタンを1回押すと番組表を表示します。  
 戻るボタンを押すと表示が消えます。

番組表	チャンネル	番組名
1	23:00-23:25	仕事学のすすめ
2	23:25-23:30	真実子さまのありこうさま!
3	23:30-23:55	青春リアル デアデア考えたこと
4	23:55-24:00	Eテレ 2355
5	00:00-00:30	私の話聞いておもしろい!

**番組名や番組情報を表示する**

リモコンのみ

番組内容

番組内容ボタンを1回押すと番組の情報を表示します。  
 戻るボタンを押すと表示が消えます。

番組情報

番組リアルタイムで撮られたこと、最新の「僕たち」は、23:00-23:30、  
 視聴者が楽しめる人気番組「アゲ」について取り上げる第11回。本日はアゲで撮られたこと、  
 最新情報番組の魅力を伝える番組情報番組「アゲ」を視聴してください。

# 10 便利な機能

## 放送画質を固定する

電波状況に関わらず視聴中の放送画質(フルセグまたはワンセグ)を固定します。

設定ボタンを押す



▲▼ ボタンで「自動切換」を選ぶ



◀▶ ボタンで「フルセグ固定」または「ワンセグ固定」を選び「戻る」ボタンで設定を終了する

指定した放送画質に固定されます。

**注意** ・画質を固定しても、その画質に必要な電波強度で受信できない場合は映りません。

## チャンネルリストを表示する

登録されているフルセグ、ワンセグの放送局をリストの中から直接選ぶことができます。



チャンネルリストボタンを押す



▲▼ 方向ボタンで放送局を選び「決定」ボタンを押す。

※ ▶▶ ボタンでフルセグとワンセグの放送局を切り換えることができます。  
 ※ 「戻る」ボタンで元の視聴画面に戻ります。

## 中継局サーチを利用する

車などで移動中に放送局からの電波が途絶えた場合、中継局を自動的にスキャンするかどうかを設定します。



設定ボタンを押す



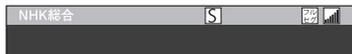
▲▼ ボタンで「中継局サーチ」を選ぶ



▶▶ ボタンで「自動」または「手動」を選び「戻る」ボタンで設定を終了する

## 画面情報を表示する

チャンネル名や受信レベル(電波状態)、バッテリー残量などの情報を表示することができます。



# 11 各種設定を行う

設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。



▲ 設定項目  
▲ 設定内容

▲▼ ボタンで設定項目を移動し、  
◀▶ ボタンで設定内容を変更します。  
[決定] ボタンで設定します。  
[戻る] ボタンでメニューを終了します。

※本体の設定ボタンも決定ボタンとして機能します。

## [設定メニュー]で設定できる項目

大項目	小項目	説明
言語		メニューの表示言語を設定します。 [選択項目] 日本語(出荷設定)、English
字幕表示		字幕表示のオン・オフを設定します。 [選択項目] オフ(出荷設定)、オン
映像調整	明るさ	明るさを調整します。 [選択範囲] 0～15(出荷設定)
	コントラスト	コントラストを調整します。 [選択範囲] 0～8(出荷設定)～15
	彩度	彩度を調整します。 [選択範囲] 0～12(出荷設定)～15
	色合い	色合いを調整します。 [選択範囲] 0～16(出荷設定)～31
本体情報	B-CAS情報	B-CASカードのIDなど情報を表示します。
	バージョン	ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
自動切替		受信中の放送画質(フルセグまたはワンセグ)を自動切り換えするか、フルセグまたはワンセグに固定するかを設定します。 [選択項目] 自動(出荷設定)、フルセグ固定、ワンセグ固定
中継局サーチ		受信中の放送局からの電波が途絶えた場合に、中継局を自動的に探すかどうかを設定します。 [選択項目] 手動(出荷設定)、自動
スキャン範囲		チャンネルをスキャンする範囲を選択します。テレビを受信される環境によって変わります。 [選択項目] 地上波(出荷設定)、CATV
地域選択		ご使用になられる地域を選択します。
都市選択		ご使用になられる都市を選択します。
スキャン開始		チャンネルスキャンを開始します。すべての周波数をフルスキャンするか、地域に関連する周波数のみスキャンするかを選択できます。通常はフルスキャンを選択します。[選択項目] フルスキャン(出荷設定)、地域スキャン

※「パスワード」の項目はファームウェア更新で使用します。更新がある場合は弊社ホームページ(<http://www.bluedot.co.jp/>)にてご案内し、その際に「パスワード」の使い方についてご説明します。

# 故障かな？と思ったら

## テレビが映らない

- ・本機の電源がオンになっているかご確認ください。
- ・受信レベルが低すぎる可能性があります。下掲の手順で受信レベルを表示してご確認ください。

※特に電波塔から遠く離れている場合や、室内でご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できません。

- ・付属の家庭用F型アンテナ端子変換ケーブルを使ってご自宅のアンテナケーブルと接続されている場合、アンテナケーブルがきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。UHFアンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合、ケーブルテレビ局に「CATVパススルー方式」で送信しているかどうかご確認ください。
- ・チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。

## 操作が効かない

- ・本機内部で処理が行われている場合、一時的に操作を受け付けないことがあります。しばらく待ってから操作してください。
- ・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。
- ・リモコンの電池の向き(極性)が正しいかご確認ください。
- ・リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。リモコンは受信部に向け正面から操作してください。

## 電源が入らない

- ・本機が充電されているかご確認ください。
- ・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

## 映像が乱れたり途切れたりする

- ・受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。下掲の手順で受信レベルを表示してご確認ください。
- ・受信レベルが低く自動的にワンセグに切り換わると画質や動きの滑らかさが低下します。
- ・元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。

## ワンセグに勝手に切り換わる

- ・受信レベルが低いチャンネルを視聴すると自動的にワンセグに切り換わります。フルセグのみを受信したい場合は設定メニューから「自動切換」にて「フルセグ固定」を選んでください。固定しても、その画質に必要な電波強度がないと映りません。

## 音が出ない

- ・音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。
- ・消音状態になっていないかご確認ください。
- ・ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。

## 受信レベルの確認方法

- ① 画質表示ボタン(リモコン)または設定ボタン(リモコンまたは本体)を押す



- ② 画面右上のアンテナレベルを確認する



強い(良好)



弱い(不安定)



受信できない



- ・電波が弱いまたは受信できない場合はまずアンテナが正しく引き出されているかを確認し、受信レベルが良くなるようにアンテナの向きを調整したり別の場所に移動したりしてください。

# 製品仕様

型名	BTV-D700
受信機型サイズ	7V型 LEDバックライト採用
画面サイズ(幅×高×対角)	15.4×8.7×17.6cm
画面画素数(水平×垂直)	800×480画素 ワイドVGA
放送方式	UHF：13ch～62ch (ISDB-T地上デジタル放送)
外形寸法(幅×高×奥行)	194×119×22mm (スタンド含まず) ※スタンド使用時の本体設置面積は最大194×133mm
本体質量	約420g
電源	入力：AC 100V～240V 50/60Hz 24～26VA 出力：DC 5V 2.5A ※専用ACアダプターを付属
バッテリー動作時間	約4時間
バッテリー充電時間	約5時間半
消費電力	最大時：約4.8W 標準時：約3.7W
スピーカー出力	1W×2
入出力端子	ヘッドホン出力×1、 サービス端子×2 (microSDまたはminiUSB)、 アンテナ入力(MCX)×2、 電源入力×1、 miniB-CASカードスロット×1

※BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には対応していません。

※データ放送や双方向サービスには対応していません。

※CATVパススルーに対応しています。

*MEMO*

A series of horizontal dotted lines for writing.

*MEMO*

A series of horizontal dotted lines for writing.

## 困ったときは

本書をお読みいただいても問題が解決しないときは、まずはホームページの『FAQ（よくあるご質問と答え）』をご活用ください。

<http://www.bluedot.co.jp/support/>

## BLUEDOT<sup>®</sup> 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : [info@bluedot.co.jp](mailto:info@bluedot.co.jp)

<http://www.bluedot.co.jp>

### お客様サポートセンター

TEL : 0570-010080 (ナビダイヤル)

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

FAX : 043-295-8852

E-mail : [support@bluedot.co.jp](mailto:support@bluedot.co.jp)

ご利用時間：午前10時から午後5時まで（土・日・祝日・会社指定休日を除く）